



仮設発電機の燃料購入について

会場整備局

エネルギー部

2020年2月12日

1 審議事項

東京2020大会時に仮設電源設備として競技会場およびIBC/MPC、選手村に設置する仮設発電機の燃料（軽油：約49万ℓ）購入の締結についてご承認をいただきたい。

2 背景

- 東京2020大会時のエネルギー供給計画は原則、商用電源（本線・予備線）と、商用電源が停電した際のバックアップ用として仮設発電機により電力供給を行う。
- 当初、IOC要件により過去大会と同様に、仮設発電機を24時間連続稼働可能な燃料を外部燃料タンクを用いて、各会場に貯蔵する計画をしていた。
- しかし、外部燃料タンクおよび貯蔵燃料が膨大となるため、IOCとの協議のうえ、仮設発電機の連続稼働を実現する方法として、緊急時燃料配送体制の構築を行うこととした。
- これにより、外部燃料タンクの設備容量を減少させ、当初の約113万ℓの燃料購入計画から約64万ℓを削減し、約49万ℓとした。

3 仮設発電機の燃料関係契約スケジュール

①燃料購入（通常配送）

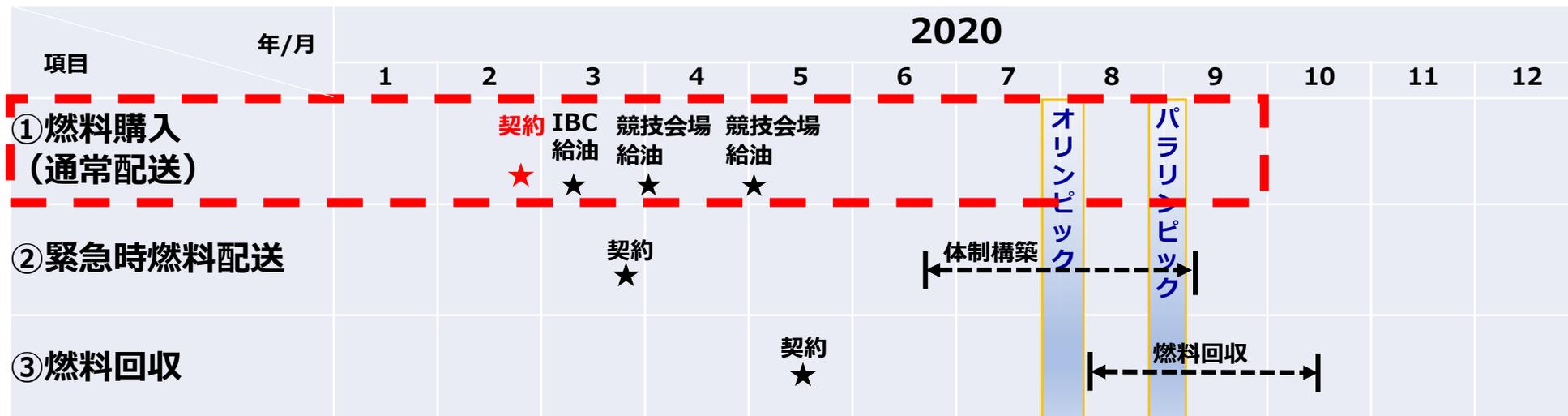
給油予定日の前日12:00までに配送依頼し、翌日配送

②緊急時燃料配送

配送依頼後、最短で3時間30分以内に燃料を配送

③燃料回収

大会後の燃料回収（燃料の処分方法は調整中）



4 予算・契約内容

今回の執行見込み額：V4 予算の範囲内

※V4予算におけるエネルギー費用（電気料金）の中で発注。

エネルギー費用（電気料金）は燃料費を含む。

※費用負担については大枠合意に基づき、会場毎に共同実施事業としてパラ経費分を国・東京都と調整中。

4 予算・契約内容

(1) 予定調達方式と調達先

- ・ 契約方法は調達管理委員会にて審議
- ・ 大会スポンサーであるJXTGエネルギーと特別契約

(2) 予定契約期間

2020年3月1日～2020年9月30日

(3) 内容

- ①燃料購入（通常配送）のみ
→②緊急時燃料配送、③燃料回収は別途発注とする。